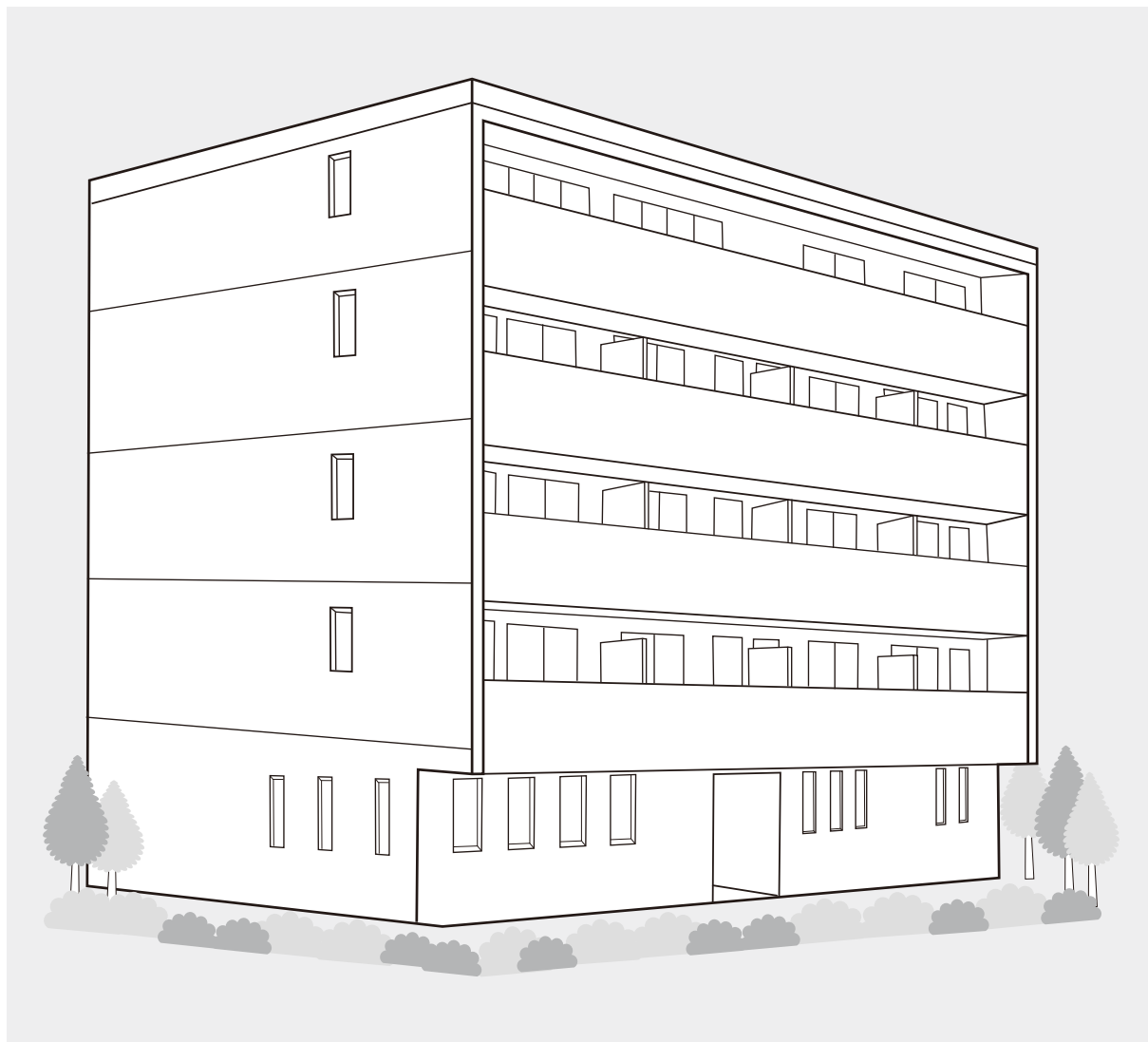


集合住宅用

ビル商品取扱い説明書
【玄関ドア編】

ご使用にあたって

- この取扱い説明書を読んで理解した上で、「玄関ドア」の操作およびお手入れをしてください。
- この取扱い説明書は、ご使用中に不明な点やお手入れの方法などをいつでも調べられるよう大切に保管してください。

はじめに

このたびは、LIXIL商品をご採用いただきありがとうございます。

製品を正しく理解し、ご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保存してください。

重要なお知らせ

ご使用の前に

- 安全のために必ずお守りください。

「玄関ドア」のご使用およびお手入れを行う場合は、

必ずこの取扱い説明書にしたがってください。

なお、この取扱い説明書にしたがわず、乱用又は誤使用によって、

ケガおよび損害が発生した場合は、株式会社LIXILおよびその

販売会社に責任はないものといたします。

- 1.この取扱い説明書の記載事項の他にも、あらゆる危険が想定されます。
したがって、「玄関ドア」のご使用およびお手入れの際は、この取扱い説明書の記載事項に限らず、安全対策に関して十分な配慮が必要です。
- 2.この取扱い説明書は著作権を有し、その権利は留意されています。

安全に正しくお使いいただくために

- 開閉時や操作時に異常(がたつき、異音、重い、固いなど)を感じた場合は、
管理会社さままたは当社お客さま相談センターにお問い合わせください。

警告用語の種類と意味

- この「取扱い説明書」では、危険度の高さ(または事故の大きさ)にしたがって、次の2段階に分類しています。以下の警告用語が持つ意味をよく理解し、本書の内容(指示)にしたがってください。

警告用語	意 味
 注 意	取扱いを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。
お願い	特に注意を促したり強調したい情報で、指示にしたがわないと使用者などが思わぬケガをするおそれや、機器の損傷故障などにつながる場合があります。

目次

商品種類	商品名	ページ
■ 共通事項	管理者さまにお願いしたいこと 居住者さまにお願いしたいこと お手入れ方法(清掃方法) 使用上のご注意 商品保証について BL認定品の商品保証について	4～14
□ 玄関ドアの取扱い		15～18
□ エアート(通風換気機能付玄関ドア)の取扱い		19
□ 通風機能付(通気ユニット)ドアの取扱い		20～21
□ ドアクローザについて		22～23
□ アフターメンテナンスについて		24

管理者さまにお願いしたいこと

集合住宅用

ご使用いただいている玄関ドアを、安全に正しくお使いいただくために、必ず取扱い説明書をお読みください。
また、いつでもお読みいただけるように大切に保管してください。

管理者さまは、下記事項をお守りください。

(1) 居住者さまの方に取扱い説明書を手渡してください。

☐ 弊社では、居住者さまに建材製品を正しく安全にご使用いただくために、取扱い説明書を用意しております。

→ 居住者さまに確実にお渡しください。

☐ 居住者さまが入替った場合、新しい居住者さまに取扱い説明書をお渡しください。

→ お手元に取扱い説明書がない場合、弊社オフィシャルサイトからダウンロードするか弊社営業事業所へ必要部数をお申し付けください。(有償)

(2) 共用部分は、管理者さまが点検してください。

☐ 注意ラベルが汚損またはなくなっていないか点検してください。

→ 該当する場合は、新しい注意ラベルを弊社へお求めください。

☐ 台風、暴風雨等の異常気象が予測される場合、必ずドアを閉めて、施錠されていることを点検してください。

また、台風、暴風雨等が通過後、出入口や窓に不具合がないかどうか点検してください。

→ 不具合を発見された場合は、応急処置を行い、弊社へご相談ください。

(3) 居住者さまが行う点検は、管理者さまが点検事項を指示してください。

(4) 不具合がありましたらご連絡ください。

☐ 居住者さまから製品の使用にあたって不具合のお申し出があった場合は、早急に弊社へご相談ください。

(5) メンテナンス、修理は必ず販売店、弊社の地域ごとの営業事業所またはLIXIL修理受付センターへご用命ください。

居住者さまにお願いしたいこと

集合住宅用

ご使用いただいている玄関ドアを、安全に正しくお使いいただくために、必ず取扱い説明書をお読みください。
また、いつでもお読みいただけるように大切に保管してください。

(1) 居住者さまは取扱い説明書をお読みください。

☐ 安全に正しくお使いいただくために取扱い説明書をご用意しています。

→ いつでもお読みいただけるように大切に保管してください。

(2) 安全上のお願い。

☐ 玄関ドアをご使用にあたっては、以下の点にご留意ください。

→ 周囲に人がいないことを確認してからドアの開閉をおこなってください。

→ ドアと枠の隙間に手や足を置かないでください。

→ ハンドル以外の部分を持って開閉しないでください。

☐ 台風、暴風雨等の異常気象が予測される場合は、必ずドアを閉めて、施錠してください。

また、台風、暴風雨等後、ドアに不具合がないかどうか点検してください。

→ 不具合を発見された場合は、管理者さまにご相談ください。

(3) 居住者さまは管理者さまからの指示にしたがって点検してください。

(4) 不具合がありましたらご連絡ください。

☐ 玄関ドアの使用にあたって不具合がありましたら、管理者さまにご連絡をお願いいたします。

(5) メンテナンス、修理は必ず管理者さまにご連絡をお願いいたします。

お手入れ方法(清掃方法)

いつまでも美しく商品をお使いいただくために、それぞれの性質に応じた方法で、定期的なお手入れが必要です。

1. 玄関ドアのお手入れ (エントランスユニットおよび金物含む)

お手入れはなるべくこまめに

- 玄関ドアは主に鉄で構成されていますので、空気中の塩分等により年月がたてば「さびなどの腐食」が発生することがあります。

「さびなどの腐食」の発生しやすい地域では、適切なお手入れをすることにより「さびなどの腐食」の発生を遅らすことができます。

「さびなどの腐食」の原因及び発生しやすい条件や場所に設置されたドアをご使用の場合は、こまめにお手入れをお願いいたします。

「さびなどの腐食」の発生原因

- 海風には塩分が含まれています。この風を受けることで、ドアに塩分が付着しそのまま放置すると「さびなどの腐食」の発生原因となってしまいます。また空気中には微量の鉄粉などが含まれていることがあります。この鉄粉などがドアに付着すると、「もらいさび」となって「さびなどの腐食」が発生することがあります。ステンレス製の部品・部材でも、同じ現象がおこることがあります。

※それ以外にも、給湯器からの排ガスや化学物質(亜硫酸ガス等)によりドアに腐食が発生することがあります。

腐食の発生しやすい条件や場所

1. 沿岸部に近いところ

一般的に海からの塩分の飛来は、海岸線からの距離に大きく関係し、*海岸線より2km以内は、海風による塩分の飛来が多い地域となります。

(※JIS Z 2381「大気暴露試験方法通則」による)

2. 海岸線が見通せるところ

台風などの風の強い日には塩分を含んだ風は数十キロ先まで、届くことがあります。海岸線が見通せる(海岸まで風を遮るものがない)建物などは、海岸線から離れていても塩分は飛来します。海風を遮る障害物の有無などによっても影響を受けます。

3. 大きな河川沿い

大きな河川では、海水の逆流があるために、河川からの風による塩分の飛来があります。

4. 日本海側

日本海側は冬期の雪・季節風に起因する塩分のために、腐食が発生しやすい地域となります。

5. 海風などが直接当たる向き

ドアが設置されている向きによっても、腐食の発生のしやすさは異なります。また、海風をさえぎる障害物の有無などによっても影響を受けます。

6. その他

廊下の入り込んだ部分は、海風により飛来した塩分が滞留してドアに多く付着するため、腐食が発生・進行しやすくなることがあります。

※工業地帯や幹線道路などの大気汚染が発生しやすい場所や鉄道の近くでも腐食するおそれがあります。

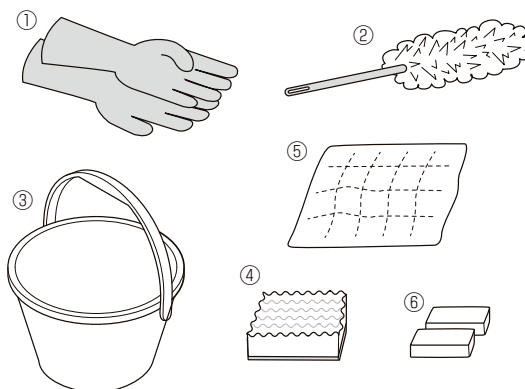
お手入れ方法

1. 清掃の時期

清掃は汚れが軽いうちに行うのがコツです。一般的環境なら3か月に1回程度を目安にしてください。海や大きな川の側、鉄道や幹線道路の側など汚れやすい地域では、よりこまめにお願いします。また、台風の後には塩分など「さび」の原因となるものが飛来し、ドアに付着しやすいので必ず清掃をお願いします。

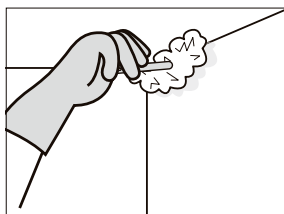
2. 準備するもの

- ① ゴム手袋(安全のために)
- ② はたき等ほこりを落とせるもの
- ③ バケツ、洗面器等
- ④ スポンジ
- ⑤ やわらかい布(新しい雑巾等)
- ⑥ メラミンスポンジ



3. お手入れ・清掃手順

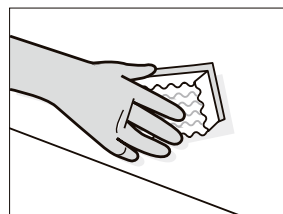
① 基本的な手順



はたき等で細かいほこりを落とす
(ドア表面、枠等)



スポンジを水に浸し湿らせる



スポンジで汚れを取り除く

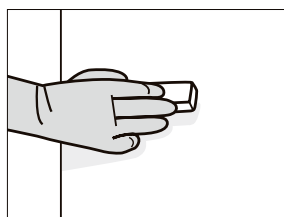


やわらかい布で水分を拭き取る

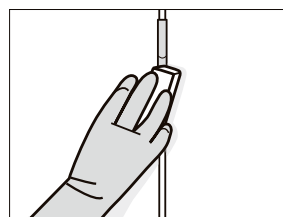
② 汚れの気になる部分および金属部分の表面についた「さび」などを取るには



メラミンスポンジを水に浸し
湿らせる



メラミンスポンジで汚れた部分を
*軽くこすり汚れを落とす
※メラミンスポンジで強くこすらない
ように注意してください。



金属部分の表面についた「さび」な
ら、メラミンスポンジで落とせます



やわらかい布で水分を拭き取る

出典：日本鋼製軽量ドア協議会

2.錠前のお手入れ

お手入れ方法

●錠穴の抜き差しがスムーズでない、または重い時、以下の手順でお手入れを行ってください。

①錠穴のゴミやホコリを吹きだしてください。錠穴のゴミやホコリはパソコンのキーボード用のエアダスター等を使用し噴出してください。

掃除機で吸い出す方法もあります。

②キーの刻み部分や溝部の汚れ(ゴミやホコリ)を取り除きます。歯ブラシ等で、刻み部分や溝の汚れを掻き出してください。(定期的な清掃をお願い致します。)

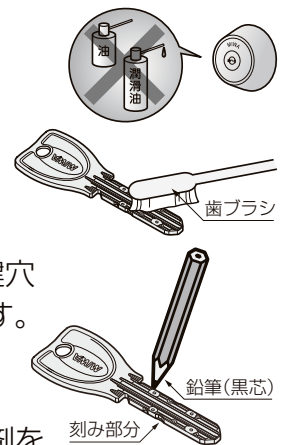
③錠穴の抜き差しがスムーズでない、または重いとき。

1) 鍵の全ての刻み部分を鉛筆(先端の黒芯)でなぞるように黒く塗り、その鍵を錠穴に挿入して数回抜き差しをしてください。カギの抜き差しがスムーズになります。

または、錠前メーカー専用の潤滑剤を錠穴に0.5秒程度吹き付けてください。

吹き付けすぎると、かえって動作が悪くなる場合があります。

2) 鍵の抜き差しがスムーズになりましたら、鍵に付着している黒い粉または潤滑剤を布等でふき取ってください。付着したまま使用されますと、衣服等を汚す場合があります。



お手入れのご注意

●潤滑剤は、ご使用の錠にあつた錠前メーカーの専用品をご使用願います。

ご購入については、錠前メーカーのホームページにて確認をお願い致します。

●錠穴には、一般に市販されている潤滑油などは絶対に使用しないでください。ホコリが堆積し、作動不良になり故障の原因になります。

3.専門業者による定期的な維持管理のお願い

●安全・安心にご使用いただくには、専門業者による定期的な維持管理が重要です。

●日頃から玄関ドアに異常が無いのか、操作・作動状況の変化が無いかに注意していただき、異常を感じたら速やかに専門業者にご相談ください。

使用上のご注意

1. 台風に向けて

台風などの暴風雨は、玄関ドアの性能を超える風雨を伴うこともありますので、暴風雨になる前に事前の対策を図ることが必要です。

台風がくる前に

- ドアを閉めて、確実に施錠してください。
風にあおられてドアが破損するおそれがあります。

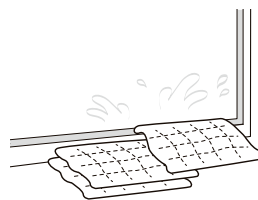


台風がきたら

- ドアの開閉は出来るだけ控えてください。
どうしても開閉しなければならない時は、手をはさんだり、ドアがあおられたりしないよう十分に気をつけてください。



- 暴風雨の場合には、風の吹き方によっては雨水が浸入する場合がありますので、このときはタオルなどを内部からドアの下枠に置くなど対応してください。



台風が通過したら

- 台風の後には、塩分などが付着しやすく、腐食の原因となりますので必ず清掃をお願いします。
- ドアアイは水が入らないものではありません。
水が入り曇ることもありますが、自然に解消されます。



2.結露について

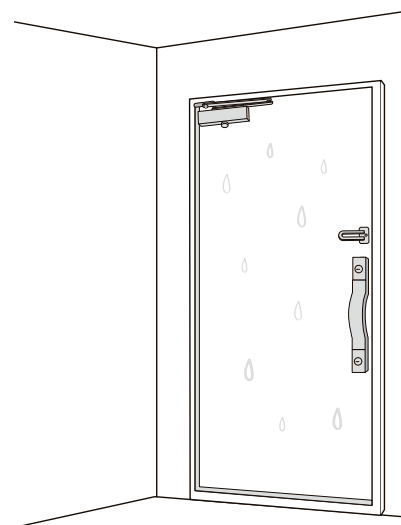
- 扉や枠に結露が発生した場合、床や壁の汚損防止と腐食防止のために、こまめに拭き取ってください。結露は、室内外の温度差が大きく、室内の湿度が高い場合に、自然現象として、季節を問わず発生します。したがって結露はドアの不具合ではありません。

室内の環境条件によっては、断熱性の高いドアを使用していても、結露が発生します。ドアは、熱を伝えやすい鋼製のドアですので、枠や扉の回り、郵便受け周辺部は、特に結露が発生しやすくなります。

一般的には、秋・冬の季節は、暖房により結露が発生しやすく、加湿器等をご使用の場合は、特に結露が発生しやすい状況になります。

結露を完全になくすることはできませんが、できるだけ抑える方法として、次のようなことがあります。

- ・居室の換気をこまめに行い、水分を含んだ室内の空気を排出する。
- ・室内で洗濯物を干さない。
- ・ストーブの上でやかんの湯を沸かしたり、加湿器のご使用を控える。



3.気密性について

JIS等級	気密等級線	(参考)対応サッシ・ドア
A-1	A-1等級線	室内建具など
A-2	A-2等級線	
A-3	A-3等級線	防音サッシ・ドア群
A-4	A-4等級線	断熱・防音サッシ・ドア群

※AはAirの頭文字です。

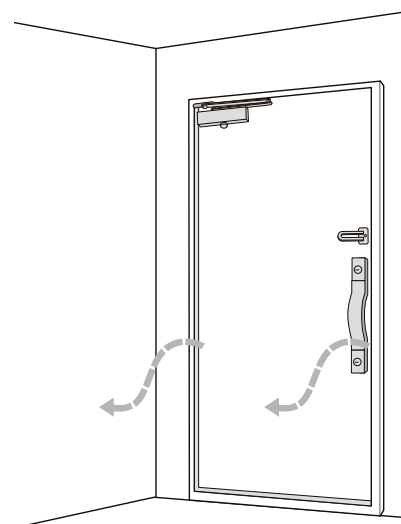
気密性が良いと

- | | | |
|-----------------------|---|-------------|
| 1 冷暖房における熱負荷が少ない。 | → | 省エネルギーにつながる |
| 2 内・外部騒音における遮音性が良くなる。 | → | 静けさにつながる |
| 3 外部からの塵埃、粉雪の吹込みが少ない。 | → | 快適な環境につながる |

- 風が吹くと室内外に気圧差が生じ、気密部品の接触部分からすき間風が生じます。このすき間風を規制する性能を気密性能といいます。A-3等級とは、風速4m/s程度の風(=木の葉や小枝が休みなく動く程度の強さ)が正面から窓に当たっているときに、窓表面1㎡あたりに1時間8㎡(=1辺が2mの立方体)以下の空気が入り出す性能です。ドアのすき間から入り出す空気の量が少ない方が性能が良いということになります。したがって、気密性が高いことにより、冷暖房における負荷を軽減するので、省エネルギーとも密接に関連し、また、遮音性能も向上します。

ただし、気密性*とは逆に換気不十分による問題も生じることがありますので、定期的な換気や換気設備の設置等の配慮が必要です。

*日本産業規格(JIS)では、空気の入りを遮断しなければならないという規定はありません。



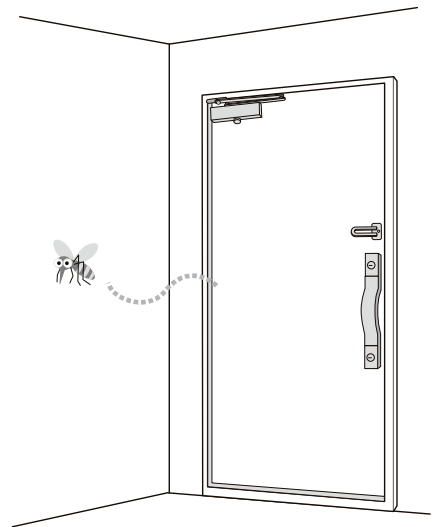
4.遮音性について

●ドアの遮音性とは、ドアを通して室外から室内へ侵入する音、室内から室外へ漏れる音をどれくらい遮ることができるのかを表す性能であり、音を完全に遮断し、住居内を無音状態にするというものではありません。住居ではドア以外に空気が出入りするところがあり、同じ遮音性能のドアが付いたとしても、部屋ごとに室内の騒音レベルが異なります。カタログなどに記載しているドアの遮音性能は、ドア単体の遮音性能のみを測定できる専用の実験室で測定した性能であり、お部屋で実測する数値とは異なります。

5.虫の侵入について

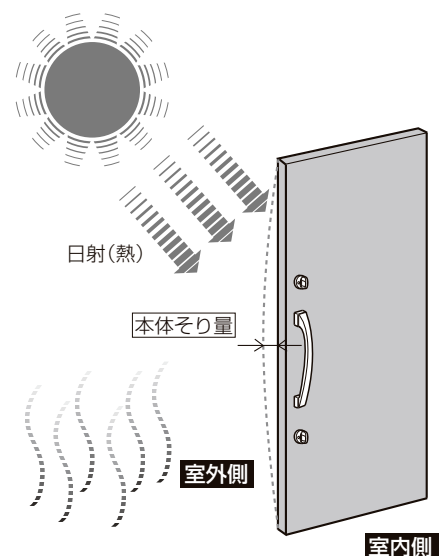
●ドアは、軽快な開閉ができるように、扉と枠の間にある程度のすき間を設ける構造となっており、完全に密着できるものになっていません。これらのすき間は、円滑な開閉を考えて薄くて弾力性のあるタイト材やパッキング材で、できるだけふさぐようになっています。昆虫は一般的に、光に向かって飛来する他、扉や障子と枠のすき間に入り込もうとする習性があります。これは、特に、10月、11月など寒さが感じられる時節や、3月、4月の春先の時節、朝晩の寒暖の差が大きい時節などに、外部の寒さから逃れるため、越冬のために、暖気が感じられる家屋に集まろうとする傾向があります。中でも、カメムシやてんとう虫等の這い回る甲虫(こうちゅう)は、少しでも暖かい方に向かって、わずかなすき間でも押し入ろうとする習性が強く、場合によっては、柔らかい材質のタイト材を押しのけて室内に侵入することもあります。したがって、このような習性を持つ昆虫の侵入を完全に食い止めることはできません。万一、虫が室内に侵入した場合の対応策は、次のとおりです。

- ・殺虫剤、駆虫剤による駆除をお願いします。カメムシ専用の薬剤もあります。
- ・特に、カメムシはうっかり触ると悪臭を出し、手の指に染みつくことがありますので、ガムテープの使用をおすすめします。



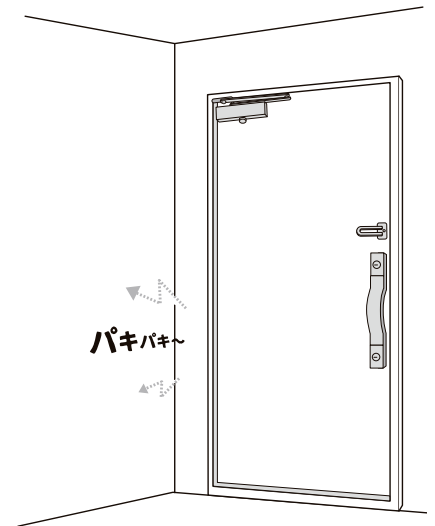
6.熱ソリについて

●断熱ドアは室内外で熱を伝えにくい構造としてあるため、直接、日差しがあたるなど室内外の温度差によってはドアの本体にソリが発生する場合があります。(最大ソリ発生量は4～5mm)
このソリは、日差しの角度が変わるなど、表面の温度差が小さくなると元に戻るので、ドアの不具合ではありません。
本体のソリが発生してドアが閉まりにくい、又はすき間が発生して気になる時は、ストライク(錠受け金具)、ドアクローザ、フランス落しツボ(調整機能付きの場合)での調整にて対応をお願いします。



7.音鳴り現象について

●ドアは太陽の日射熱の影響を受けて部材の温度上昇により熱膨張が発生して部材が伸縮するという特徴があります。また、各部材間のわずかな膨張率の違い等により音(パキパキ・ギシギシ・コーンなど)が鳴ることがあります。この現象はドアの性能に影響するものではありません。



8.取扱い上について

- ①外部からの強風によりドアが枠側に押し付けられ、開閉操作が重くなる場合があります。(24時間換気をしている場合も同様に発生する場合があります。)強風時の開閉は極力控えてください。
- ②換気扇やレンジフードを作動させると、大量の空気を排出させると同時に、ほぼ同量の空気の流入が起こり、ドアから笛鳴りが発生する場合があります。この現象は、建物全体の気密性が高く、かつ流入する空気の導入口が設けられていなかったり、換気口等の導入口の大きさが適切でない場合に、ドアの小さなすきまから高速で空気が流入することにより生じる現象で、ドアの欠陥ではありません。適切な吸気口の設定や、窓を少し開けるなどの対応で笛鳴りは防げますので、外気の取り入れ口を確保して頂きますようお願いいたします。(24時間換気している場合や強風時にも同様に笛鳴りが発生する場合がありますので同じように対応して頂きますようお願いいたします。)
- ③長期間使用いただくと扉表面の仕上げが劣化し、表面がザラザラし、白い粉がふくような現象がおこることがあります。この現象は経年劣化によるものですので、塗り替えが可能な場合もありますが、一般的には扉の交換をお勧めします。

商品保証について

本書は、当社の商品に関し、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行なうことをお約束するものです。保証期間中に故障・損傷などの不具合(以下「不具合」といいます)が発生した場合には、お取扱いの建築会社様、工務店様、販売店様または、当社営業事業所にご相談ください。

■対象商品	□ビル用建材商品
■保証期間	建築会社様よりの引き渡し日(注1、注2)から2年間(電装・排煙開閉装置部品については1年間)。ただし、商品の不具合による雨水浸入については10年間。 注1)改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。 注2)分譲住宅(建売住宅)・分譲マンションの場合は、工事完了後建築主様への引き渡し日とします。
■保証内容	取扱説明書、本体ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項を除き無料修理いたします。
■免責事項	保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。 ①当社の手配によらない第三者の加工、組立て、施工、管理、メンテナンスなどに起因する不具合(例えば、海砂や急結材を使用したモルタルによる腐食。中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食。工事中の養生不良に起因する変色や腐食など) ②表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取付けられた場合の不具合 ③建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合 ④商品または部品の経年変化(使用に伴う消耗、摩耗など)や経年劣化(樹脂部品の変質、変色など)またはこれらに伴うさび、かびまたはその他の不具合 ⑤商品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食またはその他の不具合(例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙・各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。異常な高温・低温・多湿による不具合など) ⑥商品または部品の材料特性に伴う現象(例えば木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、節抜け、樹液のにじみ出しなど) ⑦天災その他の不可抗力(例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、火災など)による不具合またはこれらによって商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合 ⑧実用化されている技術では予測することが不可能な現象またはこれが原因で生じた不具合 ⑨犬、猫、鳥、鼠などの小動物に起因する不具合 ⑩引き渡し後の操作誤り、調整不備または適切な維持管理を行わなかったことによる不具合(例えば、錠などの部品が、使用中にがたついたり異音などが発生し、異常が生じたまま使用し続けたことが原因で発生した傷・破損などの不具合) ⑪お客様自身の組立て、取付け、修理、改造(必要部品の取外しを含む)に起因する不具合 ⑫本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合または使用目的と異なる使用方法による場合の不具合 ⑬犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

※保証期間経過後の修理、交換などは有料とさせていただきます。

※本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、当社営業事業所にお問合わせください。

※BL認定商品については別途定められた保証期間・保証内容・免責事項によります。

※本商品保証は、日本国内においてのみ有効です。

※次のような消耗品については有料となります。

気密材、モヘア、小口カバー、操作ツマミなどの合成樹脂部品

BL認定品の商品保証について

本書は、当社の商品に関し、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に故障・損傷などの不具合(以下「不具合」といいます)が発生した場合には、お取り扱いの建築会社様、工務店様、販売店様、または、当社営業事務所にご相談ください。

■保証期間・保証内容

建築会社様よりの引き渡し日(注1、注2)から2年間(電装部品については1年間)。

ただし、商品の不具合による雨水浸入については10年間、サビに起因するものについては2年間。

(注1)改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。

(注2)分譲住宅(建築住宅)・分譲マンションの場合は、工事完了後、建築主様への引き渡しの日とします。取扱い説明書、本体ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項を除き無料修理いたします。

なお、強風雨時に、扉と枠の透き間等より雨水が侵入し、枠周り等に雨水がたまることがあります。これは商品上の特性であり不具合ではありません。

また、特定機能については下記のごとく別途定められています。

ただし、ドア・クローザ、錠前については保証期間、保証内容、免責事項が別途定められています。

品 目	特定機能	保証期間
玄関ドア(戸建住宅用玄関ドア以外)、改修用玄関ドア	手動での開閉機能	5年

■免責事項

保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。

- ①住宅用途以外で使用した場合の不具合
- ②当社の手配によらない第三者の加工、組み立て、施工、管理、メンテナンスなどに起因する不具合
(例えば、海砂や急結材を使用したモルタルによる腐食。中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食。工事中の養生不良による変色や腐食など)
- ③表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取り付けられた場合の不具合
- ④商品または部品の経年変化(使用に伴う消耗・摩耗など)や経年劣化(樹脂部品の変質・変色など)またはこれらに伴うさび、かびまたはその他類似の不具合
- ⑤商品周辺の自然環境、住環境に起因する結露、腐食またはその他の不具合
(例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。異常な高温・低温・多湿による不具合など)
- ⑥天災その他の不可抗力(例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、津波、噴火、洪水、地盤沈下、火災など)による不具合またはこれらによって商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
- ⑦犬、猫、鳥、鼠などの小動物に起因する不具合
- ⑧引き渡し後の操作誤り、調整不備または適切な維持管理を行なわなかったことによる不具合
- ⑨お客様自身の組立て、取付け、修理、改造(必要部品の取外しを含む)に起因する不具合
- ⑩本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合または使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
- ⑪犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合
- ⑫建築躯体の変形など住宅部品本体以外の不具合に起因する当該住宅部品の不具合。

*保証期間経過後の修理、交換などは有料とさせていただきます。

*本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、当社営業事業所にお問い合わせください。

※BL認定品の取り替え部品の供給については、生産中止後10年間と致します。

※本商品保証は、日本国内においてのみ有効です。

※BL認定品には、部品および施工の瑕疵並びにその瑕疵に起因する損害に係る優良住宅部品瑕疵担保責任保険・損害賠償責任保険が付されています。

玄関ドアの取扱い

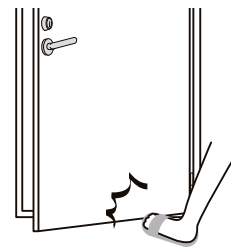
▲ 注 意

- ドアの開閉時には、吊元側のすき間に絶対に手を置かないでください。指を挟んで大ケガのおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。
- 風の強いときはドアを閉めて、必ず鍵をかけてください。風によりドアが急に開閉することがあり、ドアの破損やケガにつながるおそれがあります。
- ドアの開閉にあたっては、必ずハンドルを持って操作してください。ハンドルから手を放したり、ドアの先端に手を置くと、突風等でドアが急に閉まったとき、ドアと枠の間で指を挟み、思わぬケガをするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。
- ドアを開く場合は、ドアガードは必ず正しい位置に戻してください。正しい位置に戻さないと、ドアが閉まった時にドアガードが掛かり、室外側に締め出されるおそれがあります。



お願い

- ドアの開閉時に、下端部が足にあたらないようにご注意ください。足を挟んで大ケガをするおそれがあります。特にお子様やサンダル履きでの開閉にはご注意ください。

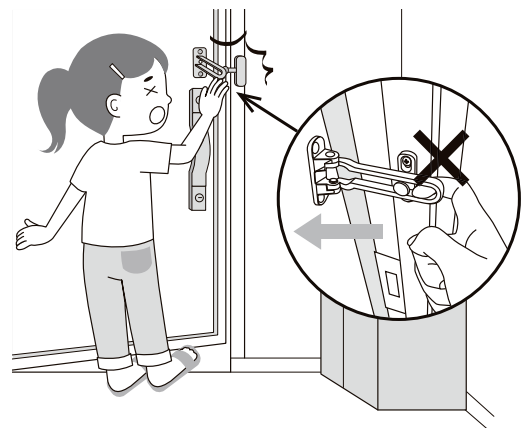


■ ご使用上のお願い

【ドアガードの操作】

お願い

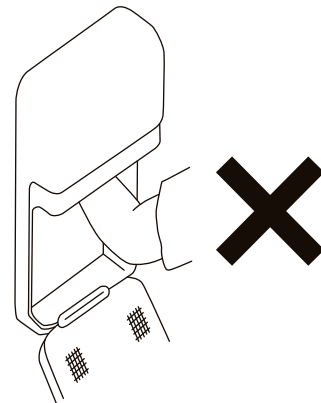
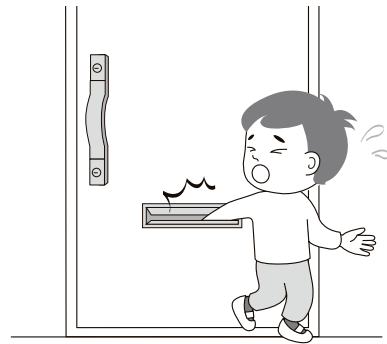
- ドアガード操作時は、ドアガードアームの溝部に指を入れないでください。特にお子様にはご注意ください。
- ドアガード操作時は、ドアガードアームに体を近づけないでください。体をぶつけるおそれがあります。



【郵便投入口・郵便受箱の操作】

お願い

- 郵便投入口の奥まで手をいれないでください。
郵便投入口のふたに手や指を挟んだ時に、そのまま抜こうとすると、ふたの端部などでケガをするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。
- 郵便受箱のふたを開いて新聞・郵便物などの投入物を取り出す時に、受箱開口部周辺に手をこすりつけたり、ふたと受箱の間に挟んだりしないでください。指を切ったりケガをするおそれがあります。また、投入物を取り出し後、必ず元のようにふたを閉めてください。ふたが開いたままにすると、ふたにあたってケガをしたり思わぬ事故につながるおそれがあります。

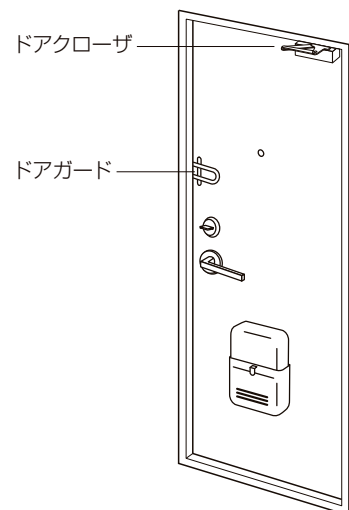


■その他で留意いただきたいこと

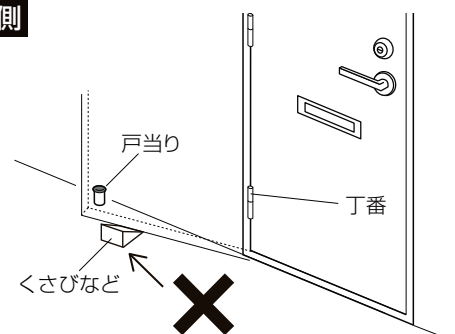
※ご使用にあたっては、以下の点にご留意ください。

- ドアは、防火設備の場合は、防火管理上いつも閉まった状態にしておく必要があります。ドアにくさび、ストッパー、ドアガードなどをかませて開放状態にしておきますと、火災発生時、延焼するなど被害の拡大につながるおそれがありますので、開放状態にしないでください。
- 不用意にドア丁番側に、くさびなどをかませて開放状態にしますと、ドアの変形や開閉に支障をきたす場合がありますので、絶対にくさびなどをかませないでください。
- ドアに使用される用心鎖やドアガードは、錠の代用として使用しないでください。用心鎖やドアガードは、来訪者の確認などのために使用する防犯上の補助的な役割を果たす金物です。錠と同様の防犯効果はありません。
- 台風などの暴風雨時にはドアから雨水が玄関や屋内に浸入することがあります。下枠部分に雑巾やタオルをあてておきますと、吹き込みを防止できます。
- ドアクローザの本体には油が入っており、油圧を利用してドアの閉じる速度を制御する機能を有しています。ドアクローザ本体内の油が低温化の状況で収縮し、空気が流れる音(流動音)が発生する場合がございます。発生している製品においては、機能や耐久性を低下させることはなく、また気温が上昇すると共に解消されます。

室内側



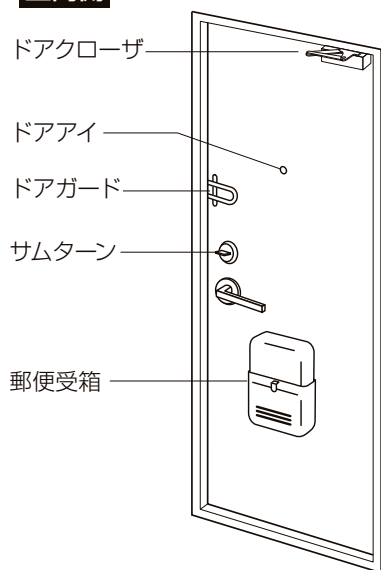
室外側



■玄関ドア各部の名称

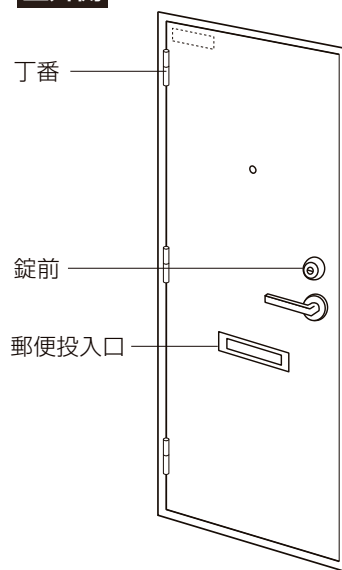
・片開き

室内側



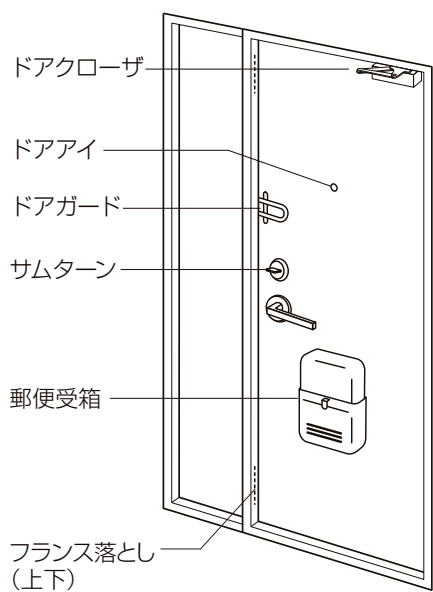
ドアガードの場合

室外側



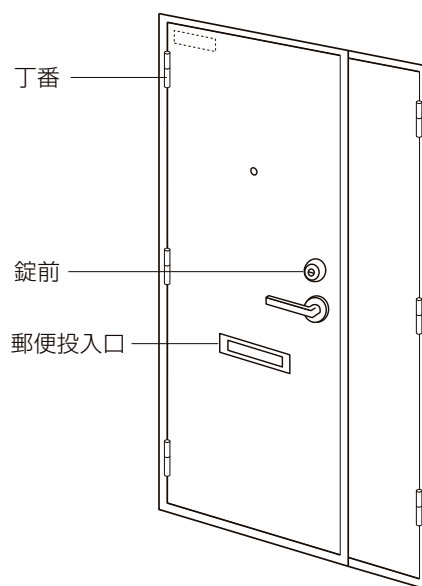
・親子

室内側



ドアガードの場合

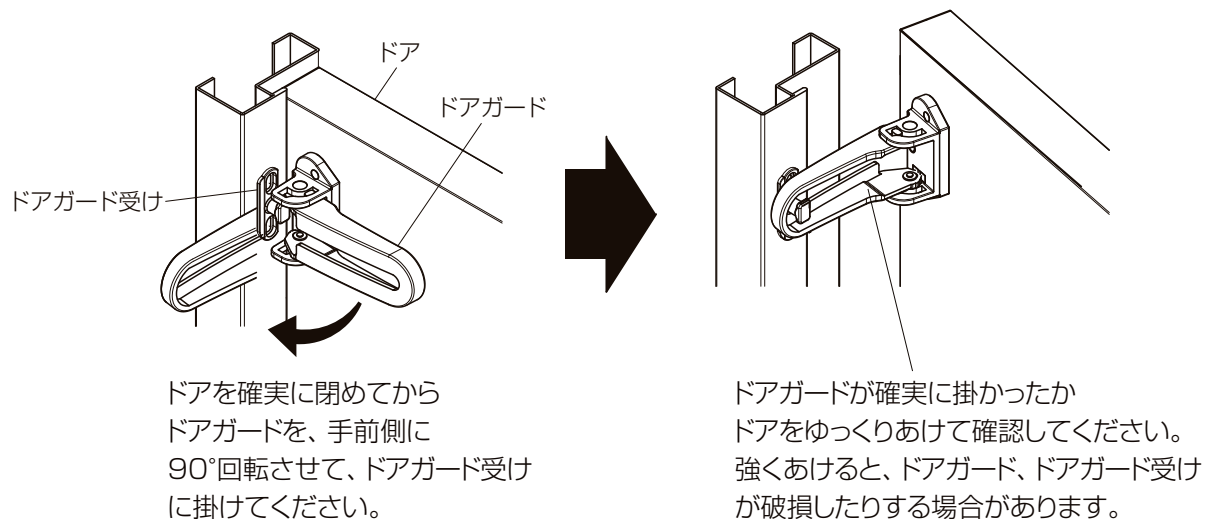
室外側



■ドアガードの操作方法

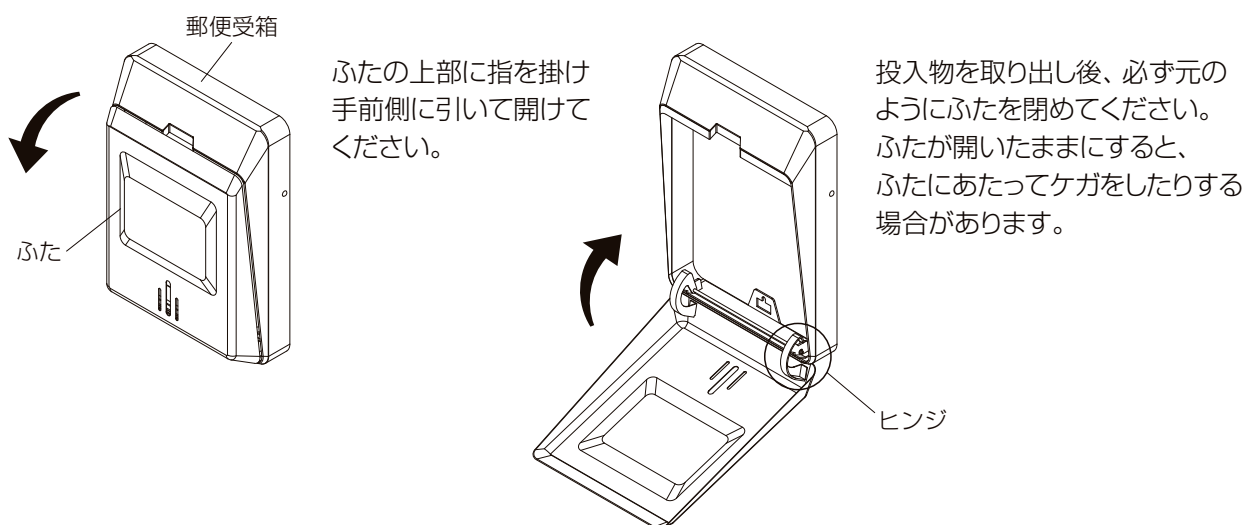
扉の内側に取り付け、来訪者の確認の時に、扉をわずかに開けて使用する防犯上の補助的な役割を果たす金物です。

■操作方法



■郵便受箱

■操作方法



■お手入れ

郵便受箱のフタの開閉がスムーズでなくなった場合、ヒンジ部に市販の潤滑剤を注入してください。

エアート(通風換気機能付玄関ドア)の取扱い

□マンションドア NXPII

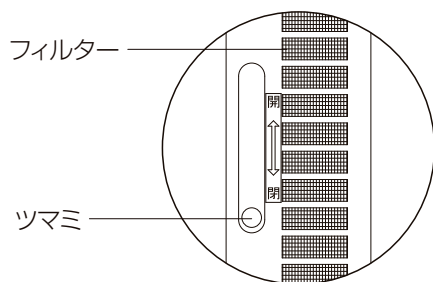
■主要部材名称

■操作方法

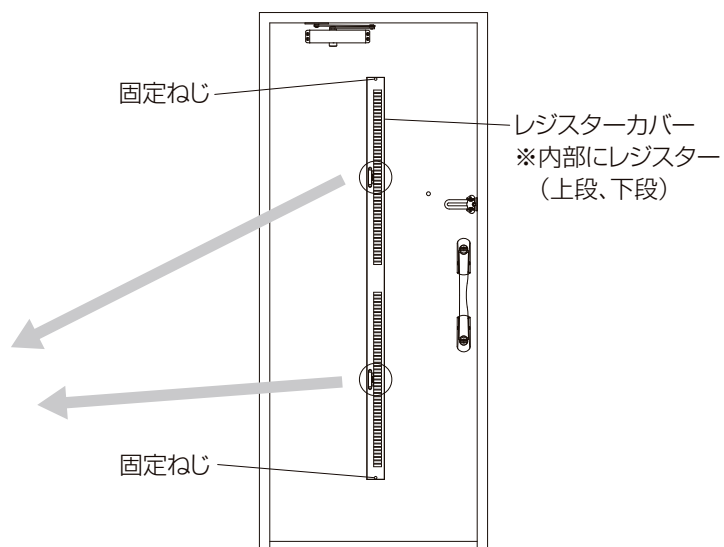
レジスターを開けるときは、操作部のツマミを上スライドさせてください。

閉めるときは、ツマミを押しながら下スライドさせてください。

※固定ねじはメンテナンス時以外は外さないでください。



【操作部】



【扉内観】

■お手入れ方法

●日常の清掃は、レジスターカバー表面の汚れを乾いたやわらかい布で拭きとってください。



【レジスターカバー表面】

通風機能付(通気ユニット)ドアの取扱い

お願い

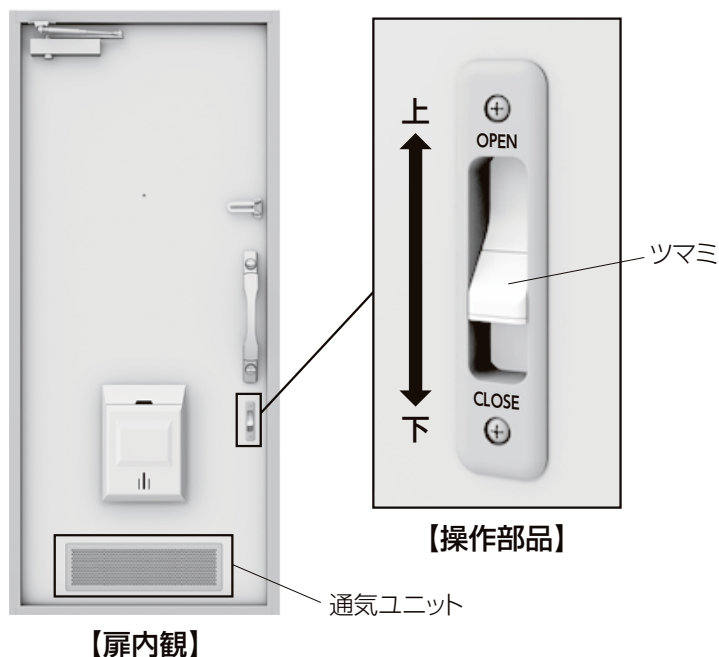
- 強風雨時は操作部品を「CLOSE」の位置にして通気口を閉めてください。雨水が通気口から浸入するおそれがあります。
- 円滑な開閉操作を保持するため月に1回程度開閉操作を実施してください。

□ マンションドア NTII、RSII

■ 主要部材名称

■ 操作方法

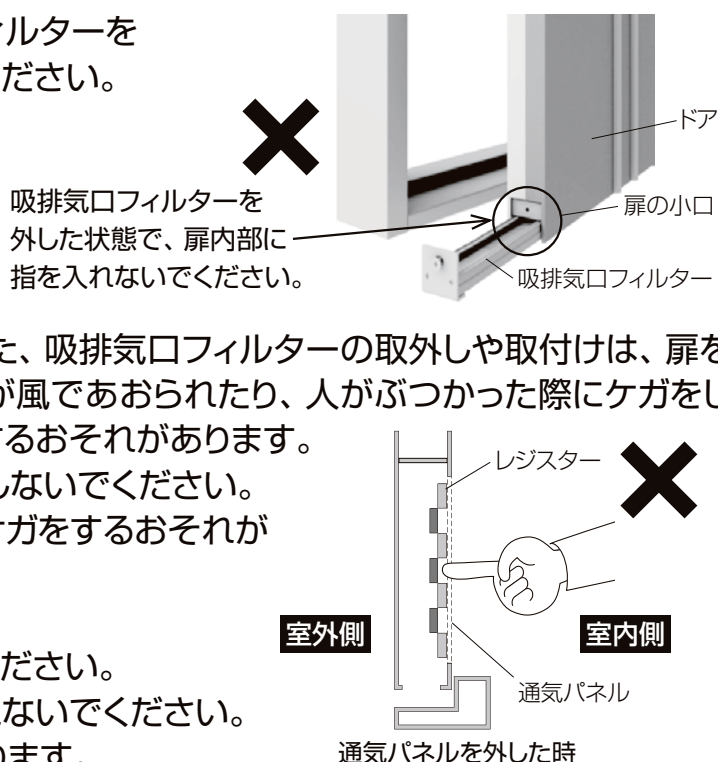
- 通気口を開ける場合
操作部品のツマミを下から上にスライドさせてください。
- 通気口を閉める場合
操作部品にツマミを斜め下に押すようにして、スライドさせてください。



■ 通気ユニットについて

お願い

- 清掃時等に通気パネル、吸排気口フィルターを外した後は、扉の小口にふれないでください。思わぬケガをするおそれがあります。
- 吸排気口フィルターを外した状態で扉内部へ指を入れないでください。鋭利な部分で思わぬケガをするおそれがあります。
- 強風時の清掃は避けてください。また、吸排気口フィルターの取外しや取付けは、扉を固定した状態で行ってください。扉が風であおられたり、人がぶつかった際にケガをしたり吸排気口フィルターや扉を破損するおそれがあります。
- 清掃時には操作部品のツマミを操作しないでください。通気ユニットの開口部で指を挟んでケガをするおそれがあります。
- 通気パネルは、清掃時に外しますが、扉内部のレジスターは、外さないでください。また、レジスターの開口部に指を入れないでください。破損や思わぬケガをするおそれがあります。
- 電動ドライバーは使用しないでください。通気ユニットが破損するおそれがあります。



■お手入れ方法

- 日常の清掃は、通気パネル表面のゴミを掃除機で吸い取ったり、雑巾がけを行ってください。
- レジスター表面の汚れは、乾いたやわらかい布で汚れを落としてください。
- フィルターのゴミやホコリが詰まってくると十分な通気量が得られなくなりますので時々清掃してください。

【通気パネルフィルター】

フィルターを掃除機ややわらかいブラシ等でゴミやホコリを取り除いてください。

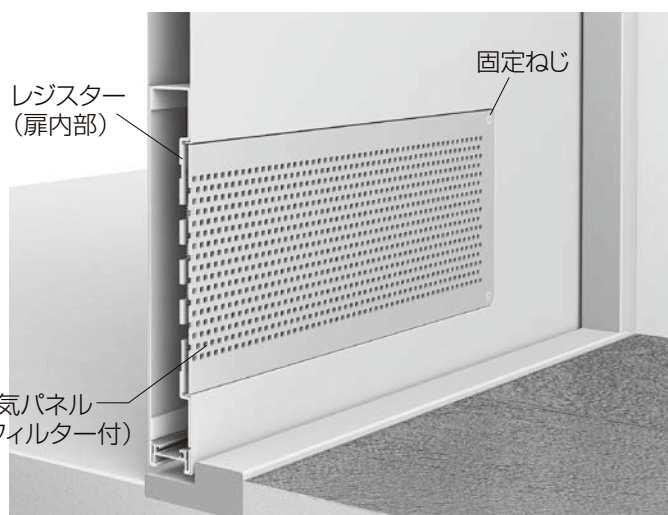
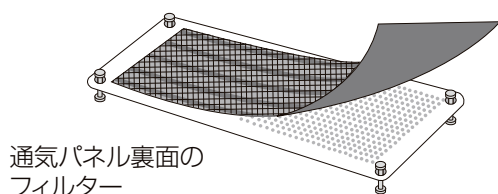
汚れがひどい場合は、フィルターを外して水またはぬるま湯につけて押し洗いするか、シャワーなどで洗い流してください。

その際、フィルター自体をもみ洗いしたり、強く絞ったりしますと、フィルターの繊維がほつれたり破れたりしますので注意してください。

洗浄後のフィルターは、十分に乾燥させてから取り付けてください。

■通気パネルフィルターの外し方

- ① 通気パネルの固定ねじをゆるめます。
(固定ねじは紛失防止のため通気パネルに固定されています。)
 - ② ゆるめた固定ねじを持ってパネルを外します。
 - ③ 通気パネルからフィルターを剥がします。
 - ④ 取付けは、取外しと逆の要領で行ってください。
- ※ フィルターが新規に必要なときは、当社お客さま担当窓口へお問い合わせください。

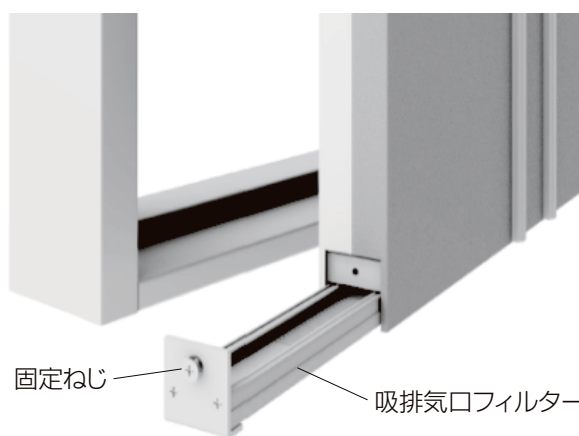


【吸排気口フィルター】

吸排気口フィルターを外してフィルター部分をやわらかい布やブラシ等でゴミやホコリを取り除いてください。

■吸排気口フィルターの外し方

- ① 吸排気口フィルターカバーの固定ねじをゆるめます。
(固定ねじは紛失防止のためカバーに固定されています。)
- ② ゆるめた固定ねじを持って吸排気口フィルターを外します。
- ③ 取付けは、取外しと逆の要領で行ってください。



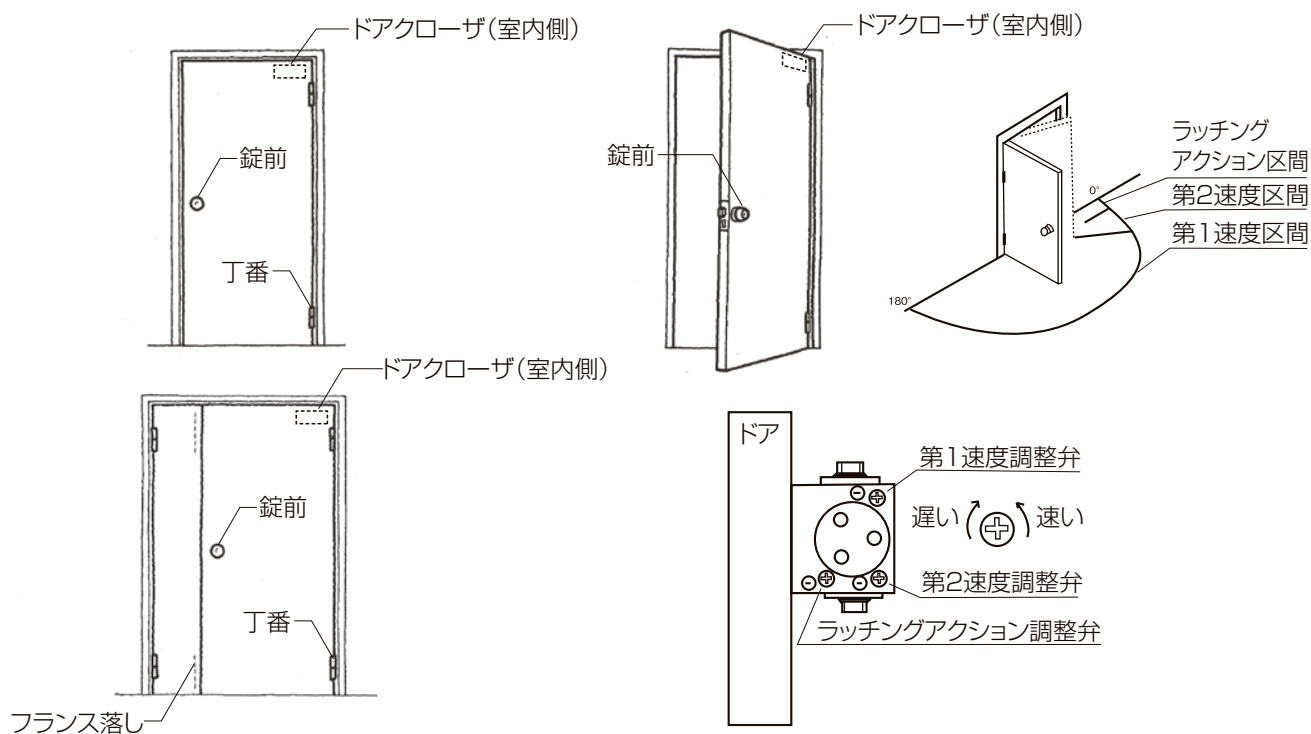
■お手入れのご注意

- 洗浄剤や薬品は、中性のものを使用してください。酸性薬品、アルカリ性薬品、塩素系薬品などの化学薬品は、アルミ部分などの金属部分を腐食させたり、塗膜はがれを引き起こしますので、絶対使用しないでください。

ドアクローザについて

■ドアクローザ(自閉装置)

- 開けた扉を自動的に閉める装置で、油圧によりゆっくり閉じる構造になっています。
- ドアクローザは引渡し時に閉鎖速度調整をしておりますが、使用中に閉鎖速度が変化してきますので定期的な点検が必要です。また、同室内で扉以外の開口部(窓など)が開いていると、風の流動により閉鎖速度が速くなったり完全に閉まりきらない場合がありますので注意してください。



■閉鎖速度の調整方法

- ドアの閉鎖速度は、ドアクローザ本体の調整バルブ横の第1、第2速度調整弁を確認し、ドライバーで調整してください。(調整は、2mm程度の微小な回転で行ってください。)
- ドアを強くすばやく閉める場合は、ラッチングアクション調整ねじを反時計方向に回転すると、すばやくドアが閉まります。ただし、BL認定ドアクローザーについては、速度調整は、ドアの閉鎖速度の調整が必要な場合は、建物管理者さま、施工業者さまにご連絡ください。

■ドアクローザのご使用上のお願い

【お手入れについて】

- 本体およびアーム、取付ブラケットの取付ねじやアームの連結ねじにゆるみが生じていないか時々点検して、締め直してください。締付けがゆるいと落下や故障の原因になります。
 - ドアの開閉で異常が感じられた場合は、メンテナンス方法に従い、点検と調整をおこなってください。（調整が難しい場合は、施工業者さまに調整を依頼してください。）
 - ドアクローザの調整弁は、ゆるめすぎると弁が抜け油洩れしますので、ゆるめすぎないようにしてください。
- ※ドアクローザ本体が油もれをした場合は、閉鎖速度の調整が不可能になり危険ですので、交換の必要があります。
- ※ドアクローザは、保証期間が2年になっています。

■メンテナンス方法

(現象)	(考えられる原因)	(点検箇所)	(対処方法)
ドアの閉じる速度が徐々に速く、または遅くなった	季節の温度変化など	速度調整ねじ	閉鎖速度の調整方法を参照願います(前頁)
ドアの閉じる速度が急に速くなった	油漏れ	ドアクローザ本体	施工された業者様に修理依頼願います
ドアの閉じる速度が急に遅くなった	油の流れが遅くなっている	速度調整ねじ	閉鎖速度の調整方法を参照願います(前頁)
閉じる際『ボタン』と大きな音がするようになった	ねじのゆるみ	取付ねじ	ねじを締付けてください
	油漏れ	ドアクローザ本体	施工された業者様に修理依頼願います
	ラッチング機構が強すぎる	ラッチングアクション調整ねじ	閉鎖速度の調整方法を参照願います(前頁)
ドアが所定の開放位置で止まらなくなった(ストップ付)	ストップつまみ(ねじ)のゆるみ	ストップ装置	施工された業者様に修理依頼願います
ドアがスムーズに閉まらなくなったり異音がするようになった	ねじのゆるみ	ドアクローザ本体	ねじを締付けてください
	1、2速のバランスが早い	速度調整ねじ	閉鎖速度の調整方法を参照願います(前頁)

- ラッチングアクションはドアが閉鎖位置直前(約2°)まできた時点でドアをすばやく閉める機構です。風が強くドアが閉まりきらない場合などに使用します。

アフターメンテナンスについて

保証について

保証期間中は、保証の規定にしたがって修理をさせていただきます。
保証期間中でも有料になる場合がありますので「**商品保証について**」の内容をよくご確認ください。

保証期間を過ぎている場合は、ご希望により有料で修理をさせていただきます。修理用部品の保有期間が過ぎている場合は、修理ができないこともあります。

修理を依頼されるときは

点検および修理を依頼される前に、各商品の『**取扱い説明書**』をもう一度ご確認の上、それでも故障が直らない場合やご不明な点がある場合は、必ず販売店、弊社の地域ごとの営業事業所または「**LIXIL修理受付センター**」にご相談ください。その際、下記のことをご連絡ください。

- ①ご住所・お名前・電話番号
- ②商品名・品番
- ③ご購入日またはご入居日
- ※分譲住宅(建売)、分譲マンションは建設業者から売主への引渡し日となります。
- ④故障または異常の内容
- ⑤訪問ご希望日
- ⑥LIXIL修理受付センターにご連絡の際は、商品のご購入者様名

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取扱いについての詳細は、LIXILオフィシャルサイトの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

点検および修理の依頼先

- ・お求めの取扱い店
- ・製品に表示している連絡先
- ・LIXIL修理受付センター

点検および修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。
技術料は、点検および故障箇所の修理および部品交換・調整などの作業にかかる費用です。
部品代は、修理に使用した部品代です。
出張料は、修理士を派遣する場合の費用です。なお修理により交換した部品・製品は、特段のお申し出がない場合は当社にて引き取らせていただきます。

修理用部品の保有期間

この商品の修理用部品(商品の機能維持には問題ない範囲内で色やデザインが異なる代替部品も含まれます。)の最低保有期間は、製造打ち切り後10年です。電装系部品については製造打ち切り後7年、室内建具などの扉・引出しなどの面材については、製造打ち切り後2年としております。

※機器類など専用の取扱い説明書があるものは除きます。添付の取扱い説明書をご確認ください。
また、修理用部品の供給が難しい場合は新シリーズの類似商品を供給させていただくこともありますのでご了承ください。

交換用部品について

お客さまご自身でお取替えいただける部品については、LIXILオフィシャルサイトよりご注文いただけます。

●LIXIL PARTS SHOP <https://partsshop.lixil.co.jp/shop/default.aspx>

掲載のない部品につきましては、お求めの取扱い店または当社お客さま相談センター ☎0120-126-001にご連絡ください。

【安全・安心にご使用いただくには専門業者による定期的な維持管理が重要です】

日頃からドアに異常が無いか、操作・作動状況の変化が無いかを注意していただき、異常を感じたら速やかに専門業者にご相談ください。

MEMO

MEMO

MEMO

ビル商品取扱説明書【玄関ドア編】

株式会社 LIXIL

納 付 書（配布依頼書）

年 月 日

御中

工 事 名	
所 在 地	

上記工事の商品を正しく使用していただき、性能・機能保持のため、

ビル商品取扱説明書【玄関ドア編】を建主さま（ご使用者）にお渡しください。

社名

キ リ ト リ

② ビル商品取扱説明書【玄関ドア編】

株式会社 LIXIL

受 領 書

年 月 日

御中

工 事 名	
所 在 地	

上記工事の **ビル商品取扱説明書【玄関ドア編】**を受領致しました。

施工者よりの引き渡し日 年 月 日

社名

株式会社 LIXIL

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00(ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く)

TEL. ☎ 0120-126-001 FAX. 03-3638-8447

●旭トステム外装株式会社のサイディング材に関する商品相談は

旭トステム外装(株)サービスデスクナビダイヤル TEL.0570-001-117

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎ 0120-413-433 FAX. ☎ 0120-413-436

<https://www.lixil.co.jp/support/>

安全に関するご注意

ご使用の前に「取扱説明書」をよくご覧の上、正しくお使いください。また、取付設置工事は「取付設置説明書・施工説明書」に従ってください。いずれの場合も、取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

●写真は印刷のため、実際の色と異なる場合がございます。現物またはサンプルなどにてご確認ください。

●仕様・価格は予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

●本カタログ掲載内容及び写真・図版の無断転載はかたくお断りします。

株式会社 LIXIL



地球環境のためにLIXILは
業界トップランナーとして
先進的な取組をしています。

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL オフィシャルサイトまで

<https://www.lixil.co.jp/>

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CAD データなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトからご確認ください。

業務用	AG9600	02	2021.5.20 発行
-----	--------	----	--------------

